

令和6年度阪神南県民センター主要施策の概要

(阪神南地域創生戦略 令和6年度アクションプラン)

“**住みたい**” “**働きたい**” “**訪ねたい**”

未来に繋がる 魅力ある阪神南

兵庫県阪神南県民センター

令和6年2月



”住みたい””働きたい””訪ねたい”と思える、未来に繋がる魅力ある阪神南地域の実現を目指します。

(単位:千円)

阪神南県民センター 施策別の地域躍動推進費予算

1 地域の魅力をいかした交流の促進	37,000
2 賑わいのあるまちづくり	27,000
3 環境と調和した安全・安心なまちづくり	14,000
計	78,000

※ 予算については、今後の県議会の議決をもって成立します。

地域ブランド力の向上

地元自治体や民間事業者と連携し、豊富な地域資源を活用することにより周遊と交流を促進します

① 阪神間モダニズムの魅力再発見事業（2,700千円）

明治末期から昭和初期にかけて阪神地域で花開いた近代的なライフスタイルである「阪神間モダニズム」を象徴するアート(美術)、建築などをテーマにしたマップの作成や、バスツアー、ウォークイベントを開催



ヨドコウ迎賓館

② 「具体」の魅力発信事業（4,000千円）

阪神南地域発祥で海外でも評価の高い「具体」美術の認知度を高めるため、作家や芸術活動にゆかりのある場所などが掲載されたデジタルマップ等を作成



100年続けるアート「平和の証」
瓶投げアート公開制作

③ マリンスポーツを活用した阪神臨海部活性化事業（1,700千円）

阪神臨海部におけるマリンスポーツに適した環境や地域の魅力を発信するとともに、新たにマリンスポーツ未経験者を対象とした体験会を開催 **New!**



芦屋キャナルパーク

地域資源をいかした交流の促進

子どもから大人まで誰もが参加・交流できるイベントの開催など魅力的な発信を行い、交流人口の一層の拡大を図ります

① 阪神南地域オープンミュージアム無料開放DAYの開催（3,338千円）

阪神南地域に多数集積している個性豊かな美術館、博物館など約20施設を無料で開放（10月）



オープンミュージアム無料開放DAY

② 阪神南ふれあいスポーツフェスタ2024の開催（5,400千円）

尼崎スポーツの森でリレーマラソンやランニング教室、子どもラグビーなど大人から子どもまで、誰もが参加・交流できるスポーツイベントを開催（10月）



アスリートによるランニング教室

③ あにあん倶楽部を活用した情報発信・イベント開催（8,500千円）

あにあん倶楽部ホームページをリニューアルするとともに、阪神南地域のフィールドパビリオンなど、魅力あるコンテンツを活用したイベントを開催 **New!**



あにあん倶楽部「アニワン」

ふるさとづくりの推進

学生や地域団体が、地域の抱える課題解決や地域活性化に向けた取組を行うための機会を促し、地域活動の活性化を図ります

① 阪神南ふるさとづくり応援事業（6,250千円）

大阪・関西万博に向けた地域外との交流促進や地域のにぎわい創出など、地域活性化に向けて地域団体が取り組む事業を支援

② 大学生による地域活性化支援事業（3,700千円）

大学生が地域活動団体、事業者等と連携して実施する地域活性化に向けた取組を支援するとともに、その取組成果を発表し、相互に交流を図る「阪神つながり交流祭」を開催



阪神つながり交流祭

③ 中高生によるまちづくり活動応援事業 *New!*（1,000千円）

地域が抱える社会課題について、中高生が課題分析や政策立案を行い、解決方法を提案

課題例：地域と連携した地域貢献活動(清掃活動・こども食堂 等)の展開、商店街の衰退 等

ものづくり産業等の振興 ①

優れた技術を持つ企業等の販路開拓活動やコア技術の高度化等の支援を行うことにより、ものづくり企業の集積地である阪神南地域の強みを将来に繋げていきます

① 阪神南ものづくり産業NextStage支援事業（1）（6,438千円）

○ 阪神南ものづくりイノベーション推進事業

・ 推進委員会による伴走サポート

優れた技術を持つ企業をリーディングテクノロジー(LT企業)に認定し、販路開拓活動等への助成を行うとともに、技術指導や課題分析などの伴走サポートを実施

・ ものづくり企業情報の発信力強化

阪神南地域のものづくり企業の技術力を地域内外へPRするため、専用ホームページ等を運営

・ あまがさき産業フェア2024への出展

阪神南地域における企業のものづくり技術等をPR

・ ものづくり企業マッチングセミナーの開催

優れた技術を持つ中小企業と大企業等とのマッチングを目的としたセミナーを開催し、商工会議所等の協力のもと、企業への伴走型支援を実施



あまがさき産業フェア2023

ものづくり産業等の振興 ②

県、経済団体、事業所等が連携し、若者の人材育成の段階的かつ包括的な支援を通じ、ものづくり産業のさらなる振興を図ります

② 阪神南ものづくり産業NextStage支援事業（2）（2,562千円）

○ ものづくり産業を支える次代の担い手創造事業

導入

・ 次世代の産業人材育成事業

商工会議所等と連携し、小中学生に対してもものづくり産業の魅力を伝える機会を提供

挑戦

・ 高校生とものづくり企業の連携事業 *New!*

高校生によるものづくり企業の技術を広報する動画作成活動を支援

定着

・ 若者ものづくり人材確保支援事業

技能者等が学校を訪問するセミナーや高校生・大学生向け就業体験バスツアーを実施

広がり

・ #SASS(大学生による中高生のためのSDGs/サステナビリティアワード)の開催

イノベーションに必要な分析力や表現力を養うため、大学等と連携し、中高生向けに動画コンテストを開催

発展

・ 未来の匠選手権の開催

市等と連携し、ものづくり技能No.1を決定する選手権を開催

環境にやさしいまちづくり

尼崎21世紀の森の利活用や地域の環境をさらに良くするための取組を推進し、快適で環境にやさしいまちづくりを展開します

① 21世紀の森づくり推進事業（5,900千円）

- ・「尼崎21世紀の森」における環境学習の新たな展開
地域で環境学習に取り組む企業等の連携の場を提供するとともに、中高生による成果の発表等を行う環境学習フォーラムを開催
- ・尼崎運河魅力アップ事業の実施
栄養循環を学ぶ環境学習クルーズ等、尼崎運河における賑わいイベントを実施



尼崎運河クルーズ

② 尼崎21世紀の森SDGs推進事業（2,900千円）

- ・尼崎21世紀の森構想国際展開事業の実施
多言語による森構想紹介動画や森づくり体験活動プログラムを作成し、万博開催に伴うインバウンド旅行者等に対し、SNSを用いて有効な情報を発信 **New!**
- ・尼崎港水質浄化プロジェクトの実施
大学や地域団体と尼崎運河・尼崎港の水質浄化を進めるとともに、調査研究の成果を公表



尼崎21世紀の森中央緑地

安心・安全なまちづくり ①

阪神・淡路大震災30年を契機とした効果的な事業や今後の被害に備える計画の推進により、災害へのしなやかな体制づくりを推進します

① 震災30周年を踏まえた防災意識の向上 *New!* (800千円)

阪神南地域の企業や住民に対し、「震災を風化させない」、「経験と教訓を伝える」をテーマに防災に対する機運を醸成

- ・ 企業参加による防災訓練の実施
阪神南地域の企業に対し、企業BCPに基づく従業員の防災訓練の実施を呼びかけ、訓練に必要な資機材を配付
- ・ 企業防災シンポジウムの開催
訓練を実施した企業が参加するシンポジウムを開催し、各企業が取組内容を発表
- ・ FMラジオを活用した震災特集の放送
震災当時の様子や状況を紹介する「震災を風化させない」特集番組を地域FMで放送

② 水害から街を守る尼ロックの認知度向上 (1,800千円)

高潮や津波から「0メートル地帯」を守り、映画「あまろっく」^{*}でも取り上げられた尼ロックに関する防災イベントを開催

- ・ 尼ロック防災フェスティバルの開催 (6月頃)
- ・ 尼ロック防災展示室の特別公開 (7~8月の土日祝)

※ 令和6年4月12日(金)兵庫県先行、4月19日(金)より全国公開の“ご実家ムービー！”



尼崎閘門(尼ロック)

安心・安全なまちづくり ②

近い将来発生が懸念される南海トラフ地震や豪雨災害等に備え、優先度の高い箇所から対策・改修を計画的に実施します

① 高潮対策の推進

「兵庫県高潮対策10箇年計画(R元~10)」に基づき、浸水被害防止対策を実施
・ 新川・東川統合排水機場、枝川町地区(西宮市)、芦屋浜地区(芦屋市)



新川水門

② 総合治水対策の推進

各河川整備計画、地域総合治水推進計画等に基づき、総合治水を推進

- ・ 武庫川流域総合治水対策の推進
(「武庫川水系河川整備計画(H23)」及び「阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画(H25)」)
- ・ 津門川地下貯留管整備事業(西宮市)の推進
(「東川水系河川整備計画(H28)」及び「阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画(H25)」)

③ 土砂災害対策の推進

豪雨災害を踏まえ、「第4次山地防災・土砂災害対策計画(R3~7)」に基づき砂防堰堤等を推進

- ・ 青葉台1丁目(西宮市)、奥池(芦屋市) 等

【目標】「安心して暮らせる阪神南地域」の実現

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
芸術文化を楽しむ機会があると思う人の割合	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	42.5%(R1)	42.7%	45.0%	47.9%	37.8%	
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合	—	80%	80%	80%	80%	80%以上
	80.6%(R1)	76.0%	72.8%	82.6%	87.6%	
観光入込客数	—	14,917千人	15,138千人	15,359千人	15,580千人	15,800千人
	14,475千人 (H30速報)	14,727千人 (R1)	7,895千人 (R2)	9,493千人 (R3)	13,291千人 (R4速報)	
社会増減	—	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持
	1,096人(R1)	1,663人	▲87人	2,617	2,852	
安心して楽しく子育てができると思う人の割合	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	53.8%(R1)	53.2%	58.9%	55.1%	51.1%	
災害に対する自主的な備えをしている人の割合	—	39.1%	43.1%	47.1%	51.1%	55%以上
	35.1%(R1)	35.6%	39.8%	45.5%	46.2%	
治安がよく、安心して暮らせると思う人の割合	—	72.8%	74.6%	76.4%	78.2%	80%以上
	71.0%(R1)	79.7%	75.4%	67.0%	63.8%	
自転車違反摘発件数の全県に対する割合	—	70.9%	65.7%	60.5%	55.3%	50%以下
	76.1%(R1)	62.6%	31.4%	34.0%	54.4%	
市町内総生産(実質)	—	3兆4,062億円	3兆4,449億円	3兆4,836億円	3兆5,223億円	3兆5,608億円 以上 (H28*110%)
	3兆3,288億円 以上(H30速報)	3兆3,166億円 (H30)	3兆5,601億円 (R1)	3兆4,161億円 (R2)	3兆5,371億円 (R3)	